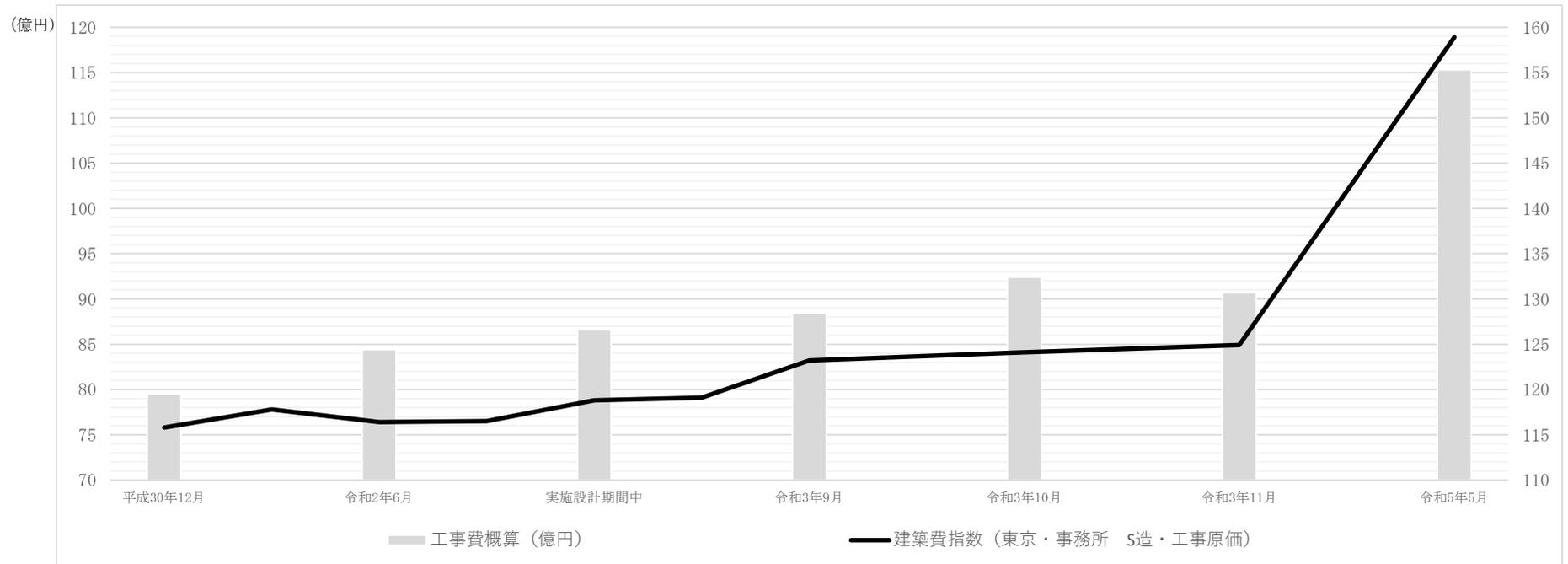


建設費の推移



時期	平成30年12月	令和2年6月	実施設計期間中	令和3年9月	令和3年10月	令和3年11月	令和5年5月
工事費概算 (億円)	79.5	84.4	86.6	88.4	92.4	90.7	115.3
増要因		・ 建築物価上昇、地盤調査結果及び市民要望等による増 (約4.8億円)	・ 浸水対策による増 (約1.2億円) ・ 追加項目による増 (約1.0億円)	・ 初回積算時の増(※1) (約2.8億円)	・ 建築物価上昇等による増 (約4.0億円)		・ 建築物価上昇による増 (約24.6億円)
減要因				・ VE・CDの反映 (約1.0億円)		・ VE・CDの反映 (約1.7億円)	
備考	新庁舎等建設計画調査業務報告書のC3案	基本設計概算、実施設計開始時点	実施設計期間中	初回積算時	積算妥当性確認	最終積算時	令和3年11月の90.7億円に建築物価建築費指数(過去1年平均)の上昇率を反映して算出
建築費指数 (東京・事務所 S造・工事原価) ※	115.8	116.4	118.8	123.2	124.1	124.9	158.9

※「実施設計期間中」は実施設計中間時点の令和3年4月の実績値。「令和5年5月」は建築物価建築費指数(過去1年平均(令和4年2月～令和5年2月))の上昇率をもとに工事着工予定時点(令和7年1月)で算出したもの。

※1 工事費が、設計の詳細が決まっていない段階の概算から、設計の詳細が決まった段階の積算となり、精度が高まったことによるもの。